

令和3年度しがこども体験活動指導者研修会

子どもの体験活動に関わる団体、施設、指導者等が一堂に会し、講演や意見交換等を通して、子どもの体験活動の充実と支援者のスキルアップを図ることを目的として研修会を実施しました。

【日時】

令和3年5月26日（水）

13:30～16:30

【会場】

滋賀県庁東館7階大会議室

任意の会場（オンライン参加）

【対象】

自然体験活動の企画・運営者等、

（しがこども体験学校登録団体）

市町教育委員会生涯学習・社会教育主管課

公民館、生涯学習関連施設の職員

社会教育関係者、学校教育関係者

【参加者】

会場参加 17名、オンライン参加 39名

計 56名

日 程	内 容
13:00	受 付（オンライン接続開始）
13:30	開会行事 開会あいさつ 日程説明
13:40	講 演 「コロナ禍における 子どもたちの体験活動の充実に向けて」 講 師：クラブアトラクション 理事長 田中 洋一 氏
14:55	説 明：自然体験活動安全管理マニュアル 作成の手引きについて
15:05	休 憩
15:15	グループ交流、活動等の情報交換
16:00	グループより発表 講師より助言
16:30	閉 会

【内容】

田中氏の講演では、コロナ禍において、いかに子どもたちの体験活動の場を設定していくか、また、どう充実させていくと良いのかについて、実践を含めながら、具体的に分かりやすくお話しいただきました。感染予防対策を講じることはもちろん、同意事項を作成し、スタッフの間で共有すること、また、これまでやってきた活動とコロナ禍でもできる活動を羅列することで、これまでの活動を見直すことにつなげていくことをお示しいただきました。「コロナ禍だからできない」ではなく「コロナ禍でできることをやる」ことで、モチベーションにつなげていくというお話は、参加された皆様の心に響き、「前向きに取り組もうと勇気をもらえました」「お話を聞いて、前向きになれました」など、大変好評でした。

このような時期だからこそ、「誰のために」「何のために」やるのかということを確認し、みんなで思いや考えを共有していくこと、また、実施後の感動や達成感を共有することで、感動に変えていくことの大切さを伝えていただきました。そして、そのことが子どもたちの成長につながると、参加者へエールを送っていただきました。

後半は、会場4グループ、オンライン5グループでグループ交流会を行いました。いろんな団体の方、職種の方と



グループになり、コロナ禍における子どもたちの体験活動について、これまで取り組んできたこと、また工夫したこと、そして、今後どのようにしていきたいかをグループで交流しました。会場の方もオンラインの方も熱心に御参加いただきました。グループ発表の内容を受けて、講師からアドバイスをいただき、参加者にとっては、今後の活動や取組のヒントを得る良い機会となりました。

【参加者の声】

＜参加者アンケート結果 より＞ ※ 回答分の集計（回答者 29 名）

○「講演」について				
とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
16名 (55.2%)	13名 (44.8%)			

○グループ協議について				
とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
9名 (31.1%)	15名 (51.7%)	1名 (3.4%)		4名 (13.8%)

＜講演についての感想（抜粋）＞

- 同意事項の作成の必要性が知れました。だれのために、何のために事業をしていくのか、子どもたちの声を聴いて考えていきたいと思いました。
- 子どもたちに、“失敗してもいいんだよ” “一緒に考えていこう” という姿勢がとても素晴らしいと思いました。体験を通して、主体的に行動できる子どもたちが増えていくよう、私たち大人がサポートできたらと思います。
- コロナという環境の中での対応をみんなで話し合い、よりよい活動につなげておられることを教えていただいて、自分たちの活動はどうだったか見直すきっかけになりました。今後の活動をもっと良いものにしていかないといけないと思いました。

＜グループ協議についての感想（抜粋）＞

- 様々な方面で活動されている方と情報交換ができてよかったです。コロナにおびえるだけでなく、子どもたちが乗り越える力をつけられるような経験をさせてあげたいと思いました。
- 普段あまり話す機会のない方たちとの情報交換では、それぞれの団体ならではの話を聞くことができて良かったです。
- いろいろな立場で試行錯誤しながら活動しておられることを知りました。参考にできるところは、取り入れていきたいと思います。
- オンラインで会場に行かなくても、多くの職員が参加できてよかったです。オンラインで制約のある環境の中でも、比較的スムーズに参加者の意見交換ができました。



「すまいる・あくしょん」の取組を広げよう!



【子ども】わくわく感動する気持ちを持とう

【大人】文化・芸術・自然・社会に触れる体験を増やす

